

【概要】

疾患の発見、病態把握の基礎となる自覚症状や他覚症状の観察とその情報収集につとめる習慣はすべての医療分野において極めて重要である。本講では疾患に伴って現れる主要な症候について学修し、症状および徴候が出現する機序について学び、その背景となる疾患を理解する基礎知識を身につける。また、薬物治療を実践するに当たって、様々な疾患の病態やその背景並びに臨床経過を理解することは極めて重要である。本講では、いくつかの代表的な疾患についてその病態・病因、並びに関連する病態生理学的な背景などについて学び、各論となる今後の薬物療法学で学修するための基礎となる知識を修得する。なお、本講では重要な臨床検査の概要についても解説する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による。